

【東京都における医薬品の監視指導等について】

東京都福祉保健局健康安全部薬務課安全対策担当 主任 藤岡 祐太

「東京都における薬務行政関連部署、東京都における薬事業態数の概況、安全対策担当で行っている、製造販売業者が実施する自主回収に係る対応等について説明した。

また、近年の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の改正に係るトピックとして、「特定用符号の容器への表示」「注意事項等情報を入手するための符号等の記載」等に関して説明した。

そのほか、「注意事項等情報の電子的な方法による提供」に関する実態調査として、令和3年度に実施した「薬事調査」の結果について紹介した。」

【地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の認定状況について】

東京都健康安全研究センター広域監視部薬事監視指導課連携薬局担当
統括課長代理 水野 正彦

高齢化や生活様式の多様化が急速に進む中、地域住民や患者さんが自身に適した「かかりつけ薬局」を選択できるよう、医薬品医療機器等法の改正により、国が定めた一定の基準を満たす薬局（地域連携薬局・専門医療機関連携薬局）を都道府県知事が認定する制度が令和3年8月から導入された。

これら認定薬局の概要や患者さんに果たすべき役割について、都が作成した動画等を用いて紹介するとともに、先に制度化された健康サポート薬局との違いを解説する。

また、導入後約1年半が経過した現時点における認定数の動向や実績数の統計データ等を交え、制度の定着状況や今後の課題等についても言及する。

【衛生害虫について】

東京都健康安全研究センター薬事環境科学部環境衛生研究科
主任研究員 井口 智義

食品における異物混入の事例を参考に、どのような昆虫が異物となっているか解説した。また、昆虫の異物は通年を通して見つかっていること、苦情者が異物を発見した時の状況、大きさが小さい昆虫も苦情となっていることを説明した。

ゴキブリ、コバエ、ノシメマダラメイガ、タバコシバンムシ、ジンサンシバンムシ、コクヌストモドキ、ヒラタコクヌストモドキ、アズキゾウムシ、ヤケヒョウヒダニ及びケナガコナダニの特徴、調査方法及び防除方法について解説した。